



山形県環境保全協議会

設立30周年記念誌

～考えは地球規模で、行動は足元から～

30th Anniversary



令和6年3月
山形県環境保全協議会

山形県環境保全協議会 設立30周年記念誌目次

1 御挨拶	3
2 祝辞	4
3 沿革	5
4 歴代会長等名簿、令和5年度役員等名簿	6
5 あゆみ	
● 総会及び記念講演会	7
● 表彰事業	10
● 研修事業	12
● 社会貢献事業	13



山形県環境保全協議会

会長 千歳 毅

ごあいさつ

本協議会は、経済と環境の両立の理念に立ち、県内の企業が協力しながら、企業活動のあらゆる分野に環境保全の考えを取り込み、企業・事業者側から快適な地域環境を創造することを目的に平成5年3月15日に設立され、今年度30周年の節目を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物であると厚くお礼を申し上げます。

現在、環境を巡る情勢は大きな節目を迎えております。山形県では、令和2年8月に、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言し、本年4月に「山形県脱炭素社会づくり条例」が施行されるなど、脱炭素社会実現に向けた動きが加速しており、本協議会の存在意義はますます大きくなってきております。

本協議会の事業活動としては、研修事業をはじめ、表彰事業などを行っており、社会貢献事業では廃プラスチック類による海洋汚染やマイクロプラスチック問題を考えるきっかけとして庄内海岸のクリーンアップ活動に取り組むなど、時代に合った様々な変化に対応し、活動を展開してきました。

当協議会設立趣旨書の一文に、「自然環境の豊かな山形県において企業活動を営む我々事業者は、地域社会の構成員として、恵まれた環境資源を枯渇することなく、将来の世代に引き継ぎ、快適な地域環境の創造に積極的に参加していくことが我々事業者に課せられた責務であろう」とございます。設立の趣旨に立ち、地域社会の一員として、良好な環境保全と創造に寄与すべく、当協議会としても邁進してまいりますので、今後とも一層の御指導、ご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げ、ごあいさつといたします。



山形県知事

吉村 美栄子

祝 辞

山形県環境保全協議会が設立30周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、平成5年の設立以来30年の永きにわたり、研修会の開催や企業の優れた環境保全活動の表彰事業等の実施により、企業活動における環境倫理の確立や環境教育の推進に努められ、本県環境施策の推進に大きく貢献されました。皆様のこれまでの御尽力に心から敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、全国的に気候変動の影響と考えられる異常気象やこれに伴う災害が頻発しており、本県においても豪雨による大規模な被害が発生するなど、その原因とされている地球温暖化への早急な対応が求められております。

このような中、県では、令和2年8月、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言し、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの拡大等による化石燃料依存からの脱却を決意したところです。

その実現に向けては、身近で、できることから、カーボンニュートラルに向けたアクションに県民総ぐるみでチャレンジする「カーボンニュートラルやまがた県民運動」を展開するとともに、昨年制定した「山形県脱炭素社会づくり条例（愛称：さくらんぼ未来の地球を守る条例）」のもと、より実効性のある取組みをさらに加速させてまいります。

こうした地球温暖化への対応を契機として、生活様式や経済活動などあらゆる社会経済構造を変革し、この変革を社会経済の成長へと結び付け、真の意味での持続可能な社会の実現に向けては、「経済と環境の両立」の理念のもと、各企業が率先して環境保全活動に取り組むことが益々重要になってまいります。

貴協議会には、企業活動における環境保全の取組みをさらに広げるため、引き続き大きな役割を果たしていただきますよう期待申し上げますとともに、本県の健全で恵み豊かな環境を守り、将来の世代に継承していくため、格別の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山形県環境保全協議会の益々の御発展と、会員の皆様の一層の御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

沿革

- 平成 3 年 山形県環境保全懇談会が県に対し「企業が集まって環境保全の在り方を考える場が必要」とする長期構想を答申
- 平成 4 年12月 山形県環境保全懇談会で「経済と環境を両立し、企業活動に環境保全を組み込む」企業を主体とした協議会の設立を決定
- 平成 5 年 3 月 1 日 設立準備会を開催（設立発起人17名）
3 月15日 設立総会を開催 初代会長に水戸部知巳氏就任（会員数110社）
事務局を山形県環境保健部公害課内（山形県庁内：山形市松波）に置く
6 月21日 平成 5 年度通常総会を開催、総会記念講演会、懇親パーティーを開催
9 月 会報VOL.1（第 1 号）発行
- 平成 6 年 4 月 1 日 事務局を山形県環境保健部環境保全課内（山形県庁内：山形市松波）に置く（県組織名変更）
11 月 4 日 特別事業「欧州エコビジネス・環境保全行政調査団」を結成し、スイス、ドイツ、イギリスを訪問。リサイクル活動、酸性雨被害状況、環境保護活動推進企業などの調査を実施
～13日
- 平成 8 年 4 月 1 日 事務局を山形県文化環境部環境保護課内（山形県庁内：山形市松波）に置く（県組織名変更）
6 月10日 千歳栄氏第 2 代会長に就任
- 平成 9 年11月11日 企画活動委員会を設置
- 平成10年 4 月 1 日 事務局を山形県文化環境部環境企画課内（山形県庁内：山形市松波）に移す
- 平成11年 2 月26日 ホームページを開設
表彰制度「環境保全推進賞」を創設
4 月 社会貢献活動事業を開始
6 月 4 日 環境やまがた推進ネットワーク運営委員となる
- 平成12年 6 月13日 平成12年度総会開催、第 1 回目の「環境保全推進賞表彰式」を実施
- 平成13年 9 月～ 県と協力し、「アイドリングストップ統一行動」を実施
- 平成14年 6 月13日 鈴木俊幸氏第 3 代会長に就任
12 月20日 設立10周年記念式典・記念講演を開催、記念祝賀会・異業種交流会を開催
- 平成15年 4 月 環境保全率先活動事業を開始
6 月12日 平成15年度通常総会、表彰、環境月間記念講演の終了後、最初となる「企業等交流会」を開催
- 平成17年 4 月 環境活動等支援事業（助成制度）を開始
7 月 1 日 事務局を特定非営利活動法人環境ネットやまがた（山形県環境科学研究センター内：村山市楯岡笛田）へ移管
- 平成18年 4 月 環境経営システム導入支援事業（助成制度）を開始
10 月 社会貢献事業として森林整備活動を開始
- 平成19年 7 月 事務局を村山市楯岡笛田から山形市城西町（山形県NPO支援センター内）へ移す
- 平成20年 6 月 5 日 小嶋信一氏第 4 代会長に就任
- 平成22年 8 月16日 事務局を山形市城西町から山形市上桜田（山形エコハウス内）へ移す
- 平成23年 9 月23日 社会貢献事業として塩釜市浦戸諸島復興支援活動を開始
- 平成25年12月19日 設立20周年記念シンポジウムを開催
- 平成26年 6 月 3 日 鈴木喜代壽氏第 5 代会長に就任
- 平成30年 8 月 8 日 県内の小学生を対象に夏休み会社見学会を開催
- 令和 2 年 6 月22日 千歳毅氏第 6 代会長に就任
- 令和 3 年10月30日 社会貢献事業として庄内海岸クリーンアップ活動を開始

山形県環境保全協議会 歴代会長・副会長

年 度	会 長	副 会 長	
平成5年度～7年度	水戸部 知 巳	千 歳 栄	眞 田 昌 紀
平成8年度～11年度	千 歳 栄	八 巻 和 男	鈴 木 俊 幸
平成12年度～13年度	//	高 橋 弘 道	//
平成14年度～19年度	鈴 木 俊 幸	//	小 嶋 信 一
平成20年度～23年度	小 嶋 信 一	鈴 木 信 次	鈴 木 喜 代 壽
平成24年度～25年度	//	天 笠 俊 介	//
平成26年度～29年度	鈴 木 喜 代 壽	松 崎 裕 之	千 歳 毅
平成30年度～令和元年度	//	千 葉 秀 樹	//
令和2年度～4年度	千 歳 毅	//	桂 木 宣 均
令和5年度～	//	佐 藤 裕 市	//

令和5年度役員等名簿

役 職	氏 名	所 属	所 属 職 名	所在地
会 長	千歳 毅	株式会社千歳建設	代表取締役社長	山形市
副会長	佐藤 裕市	酒田共同火力発電株式会社	取締役社長	酒田市
副会長	桂木 宣均	日本地下水開発株式会社	代表取締役社長	山形市
理 事	菅野 良彦	アイジー工業株式会社	取締役常務執行役員製造部長 兼カーボンニュートラル推進管掌	東根市
理 事	松村超一郎	エムテックスマツムラ株式会社	代表取締役副社長	天童市
理 事	小嶋 寛之	オビサン株式会社	代表取締役社長	山形市
理 事	松野 浩一	株式会社小森マシナリー	代表取締役	高島町
理 事	鈴木喜代壽	スズキハイテック株式会社	取締役会長	山形市
理 事	齋藤 学	東北エプソン株式会社	代表取締役社長	酒田市
理 事	阿部 雅宏	東北電力株式会社山形支店	執行役員山形支店長	山形市
理 事	松田 企一	日東ベスト株式会社	取締役研究部長	寒河江市
理 事	佐藤 良吉	株式会社丸定	相談役	米沢市
理 事	岩崎 信幸	水澤化学工業株式会社水沢工場	工場長	鶴岡市
理 事	佐々木 彰	山形東亜DKK株式会社	代表取締役社長	新庄市
理 事	古山 利昭	株式会社ヤマザワ	代表取締役社長	山形市
理 事	小中 章雄	山形県	環境エネルギー部長	山形市
監 事	五十嵐 誠	中央公害清掃株式会社	代表取締役	山形市
監 事	山本 文実	株式会社山本製作所	代表取締役	天童市

あゆみ

20周年記念誌で設立から平成25年度までのあゆみを記載しましたので、その後の平成26年度から令和5年度までのあゆみを記載しています。なお、20周年記念誌は、当協議会ホームページでご覧いただけます。

総会及び記念講演会

平成 26 年度

- 平成26年度 通常総会

日 程：6月3日

場 所：山形国際ホテル

- 環境月間記念講演会

演 題：「地球温暖化対策を通じた地域における戦略的アプローチについて」

講 師：環境省地球環境局地球温暖化対策課課長補佐 香具 輝男 氏



平成 27 年度

- 平成27年度 通常総会

日 程：6月10日

場 所：山形国際ホテル

- 環境月間記念講演会

演 題：「気候変動を含めたグリーン経済」

講 師：九州大学大学院工学研究院 都市システム工学講座 教授 馬奈木俊介 氏



平成 28 年度

- 平成28年度 通常総会

日 程：6月2日

場 所：ホテルメトロポリタン山形

- 環境月間記念講演会

演 題：「パリ協定が予言する逆産業革命

～大転換時代を地域経済はどう乗り越えるか～」

講 師：一般財団法人持続性推進機構 理事長 安井 至 氏



平成 29 年度

●平成29年度 通常総会

日 程：6月5日

場 所：ホテルメトロポリタン山形

●環境月間記念講演会

演 題：「国がなくなる? = 気候変動・地球温暖化最前線国キリバス共和国から =」

講 師：キリバス共和国名誉領事館 名誉領事・大使顧問 ケンタロ オノ 氏



平成 30 年度

●平成30年度 通常総会

日 程：6月5日

場 所：ホテルメトロポリタン山形

●環境月間記念講演会

演 題：「パリ協定の目的の実現に向けて動き出した国際社会」

講 師：国立環境研究所社会環境システム研究センター

環境政策研究室 主任研究員 久保田 泉 氏



令和元年度

●令和元年度 通常総会

日 程：6月5日

場 所：ホテルメトロポリタン山形

●環境月間記念講演会

演 題：「生物多様性と私たちの生活」

講 師：国立環境研究所生物生態系環境研究センター

生態リスク評価・対策研究室室長 五箇 公一 氏



令和 2 年度

●令和 2 年度 通常総会

新型コロナウイルス感染症が県内でも拡大している状況をうけ、書面表決による開催とした。

●環境月間記念講演会

新型コロナウイルス感染症が県内でも拡大している状況をうけ、中止とした。

令和3年度

● 令和3年度 通常総会

新型コロナウイルス感染症が県内でも拡大している状況をうけ、書面表決による開催とした。

また、例年総会后に開催される環境月間記念講演会については「カーボンニュートラル講演会」として12月に開催した。



● カーボンニュートラル講演会

日 程：12月22日

場 所：ホテルメトロポリタン山形（オンラインと併用し開催）

演 題：「未来をどこまで見通すことができるか
～持続可能性という観点から～」

講 師：株式会社バックキャストテクノロジー総合研究所
エグゼクティブフェロー 安井 至氏

令和4年度

● 令和4年度 通常総会

日 程：5月31日

場 所：パレスグランデール

● 環境月間記念講演会

演 題：「気候危機のリスクと社会の大転換
～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～」

講 師：東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
国立研究開発法人国立環境研究所地球システム領域 上級首席研究員 江守 正多氏



令和5年度

● 令和5年度 通常総会

日 程：6月5日

場 所：ホテルメトロポリタン山形

● 環境月間記念講演会

演 題：「脱炭素社会におけるサステナブル経営と地域の未来」

講 師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社フェロー（サステナビリティ）
東京大学教養学部 客員教授 吉高 まり氏



表彰事業

平成11年2月、県内の企業及びその従業員の先駆的な環境保全への取組を顕彰する「環境保全推進賞」制度を創設。毎年、6月に開催する山形県環境保全協議会通常総会において表彰。

年 度	山形県知事賞（大賞）	環境保全推進賞	選考委員特別賞
平成26年度	・(株)シェルター（山形市）	・(株)クリーンシステム（山形市） ・テクノモリオカ(株)（長井市）	・ミクロン精密(株)（山形市）
平成27年度	・(株)山形県自動車販売 リサイクルセンター（山形市）	・エヌ・デーソフトウェア(株) （南陽市） ・(株)片桐製作所（上山市） ・田村技研工業(株)（鶴岡市） ・一般財団法人山形県理化学分析 センター（山形市） ・社会福祉法人遊佐厚生会特別養 護老人ホームゆうすい(遊佐町)	・小国グリーンエナ ジー合同会社 （小国町）
平成28年度	・酒井鈴木工業(株)（酒田市）	・岡崎医療(株)（山形市） ・ネットヨタ山形(株)（山形市） ・ルネサスセミコンダクタ パッケージ&テストソリュー ションズ(株)電子機器部 （米沢市）	・(有)高山工務店 （米沢市）
平成29年度	・(株)いそのボデー（山形市） ・(株)ニューテックシンセイ （米沢市）	・ソーラーワールド(株)（天童市） ・東北日本ハム(株)（酒田市）	・庄内環境マネジメ ント研究会
平成30年度	・(株)トーホー（天童市）	・NECエンベデッドプロダクツ(株) （米沢市） ・サンリット工業(株)（長井市） ・山形化成工業(株)（河北町）	・山形県サッシ・ガ ラス協同組合
令和元年度	・加藤総業(株)（酒田市） ・(株)大商金山牧場（庄内町）	・(株)エービーエム ・荘内電気設備(株) ・山田建設(株)	・(一社)新木造住宅 技術研究協議会 山形支部(山形市)
令和2年度	・(株)モス山形（山形市） ・リコージャパン(株)山形支社 （山形市）	・NECエンベデッドテクノロ ジー(株)（南陽市） ・(株)クリーンシステム（山形市） ・山形精密鑄造(株)（長井市）	・安藤組グループ （庄内町）
令和3年度	・東北おひさま発電(株)（長井市）	・(株)アーレスティ山形（白鷹町） ・(株)JVCケンウッド山形(鶴岡市) ・(株)トー屋（酒田市）	・(株)渡会電気土木 （鶴岡市）
令和4年度	・(株)メカニック（酒田市） ・山形日産グループ（山形市）	・ミドリオートレザー(株)(山形市) ・山形県電機商業組合（山形市）	・(株)小島洋酒店 （米沢市）
令和5年度	・(株)原田瓦工業（酒田市）&(株)秋 葉アトリエ（山形市） ・(株)丸定（米沢市）	・(株)伊藤製作所（山形市） ・花王(株)酒田工場（酒田市） ・(有)家具のヤマヒョウ（山形市）	・水澤化学工業(株) 水沢工場(鶴岡市)

平成 26 年度



平成 27 年度



平成 28 年度



平成 29 年度



平成 30 年度



令和元年度



令和 2 年度



令和 3 年度



令和 4 年度



令和 5 年度



研修事業（視察研修会）

平成 26 年度

日 程：12月2日～3日（参加者12名）

場 所：株式会社ベジ・ドリーム栗原

株式会社元気アップつちゆ

REIFふくしま2014



REIFふくしま2014

平成 27 年度

日 程：11月25日（参加者30名）

場 所：株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター

（平成27年度山形県環境保全推進賞知事賞受賞）

西仙台変電所



西仙台変電所

平成 28 年度

日 程：12月8日（参加者30名）

場 所：酒井鈴木工業株式会社

（平成28年度山形県環境保全推進賞知事賞受賞）

酒田共同火力発電株式会社

花王株式会社酒田工場



酒井鈴木工業株式会社

平成 29 年度

日 程：11月22日（参加者17名）

場 所：株式会社いそのボデー、株式会社ニューテックシンセイ

（平成29年度山形県環境保全推進賞知事賞受賞）

シェルターなんようホール



株式会社いそのボデー

平成 30 年度

日 程：12月13日（参加者21名）

場 所：株式会社トーホー

（平成30年度山形県環境保全推進賞山形県知事賞受賞）

山形化成工業株式会社

（平成30年度山形県環境保全推進賞受賞）

エネルギー回収施設（山形市立谷川）



山形化成工業株式会社

令和元年度

日 程：12月12日（参加者18名）

場 所：株式会社大商金山牧場

加藤総業株式会社

（令和元年度山形県環境保全推進賞山形県知事賞受賞）



加藤総業株式会社

令和2年度

新型コロナウイルス感染症が県内でも拡大している状況をうけ、中止。

令和3年度

日 程：11月30日（参加者23名）
場 所：東北おひさま発電株式会社
（令和3年度山形県環境保全推進賞山形県知事賞受賞）
株式会社アーレスティ山形
（令和3年度山形県環境保全推進賞受賞）



東北おひさま発電株式会社

令和4年度

日 程：11月28日（参加者9名）
場 所：株式会社メカニック
山形日産自動車株式会社寒河江店
（令和4年度山形県環境保全推進賞知事賞受賞）



株式会社メカニック

令和5年度

日 程：12月19日（参加者16名）
場 所：株式会社丸定
（令和5年度山形県環境保全推進賞知事賞受賞）
産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所



株式会社丸定

社会貢献事業

平成26年度

- ・金峯山森林整備活動（9月14日、参加者32名）
- ・宮城県塩竈市浦戸寒風沢復興支援活動（6月21日、参加者37名）



平成 27 年度

- ・金峯山森林整備活動（9月6日、参加者37名）
- ・宮城県塩竈市浦戸寒風沢復興支援活動（6月20日、参加者39名）



平成 28 年度

- ・金峯山森林整備活動（10月9日、参加者43名）
- ・宮城県塩竈市浦戸寒風沢復興支援活動（6月25日、参加者39名）



平成 29 年度

- ・金峯山森林整備活動（10月8日、参加者36名）
- ・宮城県塩竈市浦戸寒風沢復興支援活動（7月1日、参加者38名）



平成 30 年度

- ・金峯山森林整備活動（台風の影響で中止）
- ・宮城県塩竈市浦戸寒風沢復興支援活動（6月23日、参加者43名）



令和元年度

- ・金峯山森林整備活動（台風の影響で中止）
- ・宮城県塩竈市浦戸寒風沢復興支援活動（6月22日、参加者34名）



令和2年度

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況をうけ中止。

令和3年度

- ・金峯山森林整備活動（10月10日、参加者23名）
- ・庄内海岸（酒田港大浜海岸）クリーンアップ活動（10月30日、参加者24名）



令和4年度

- ・金峯山森林整備活動（10月9日、参加者27名）
- ・庄内海岸（酒田港大浜海岸）クリーンアップ活動（9月17日、参加者24名）



令和5年度

- ・金峯山森林整備活動（10月8日、参加者26名）
- ・庄内海岸（酒田港大浜海岸）クリーンアップ活動（9月30日、参加者26名）



■ 発行日

令和6年3月31日

■ 編集発行

山形県環境保全協議会事務局（NPO法人環境ネットやまがた）

〒990-2421

山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail hozenkyo@eny.jp

ホームページ <http://www.eny.jp/hozenkyo/default.htm>
